

平成20年
11月27日

病害虫発生予報 12月号

茨城県病害虫防除所
茨城県植物防疫協会

全ての農作物に残留農薬基準が設定されています！！

薬剤散布の際は周辺作物へ飛散しないよう十分注意しましょう

< 目 次 >

| | |
|---|---|
| . 今月の予報 | |
| 【注意すべき病害虫】 | |
| イチゴ：うどんこ病，アブラムシ類 | 1 |
| 【その他の病害虫】 | 2 |
| イチゴ，促成ピーマン | |
| . 病害虫ミニ情報 | |
| 水稻の縞葉枯病発生状況について | 3 |
| . 今月の気象予報 | |
| | 5 |
| . テレホンサービス | |
| | 5 |
| 029(226)5321 | |
| 農薬登録速報については，農林水産省ホームページ「農薬コーナー」 http://www.maff.go.jp/nouyaku/ 内の登録速報を参照してください。 | |
| 詳しくは，病害虫防除所へお問い合わせ下さい。 茨城県病害虫防除所 Tel :029-227-2445 予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。 ホームページアドレス http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/ | |

・今月の予報

【注意すべき病害虫】

イチゴ

1. うどんこ病

[予報内容]

| 発生時期 | 発 生 量 | 発生地域 |
|------|-------|------|
| 平年並 | やや多い | 県下全域 |

[予報の根拠]

11月下旬現在，平年よりやや多い発生である。

気象予報によると，向こう1か月の気温と降水量は平年並と予想され，特に発生を助長する条件ではない。

[防除上注意すべき事項]

罹病した葉や果実などは，ハウス内に放置せずにハウス外へ持ち出し，土中深く埋める。果実に発生すると被害が大きくなるため，防除を徹底する。特に「とちおとめ」は，うどんこ病に罹病しやすいため，注意が必要である。

薬剤は，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。また収穫前日数等にも十分注意する。

薬剤耐性菌の出現を防ぐため，系統の異なる薬剤をローテーション散布する。またミツバチ導入後は使用できる薬剤に限られるため注意する。

2. アブラムシ類

[予報内容]

| 発生時期 | 発 生 量 | 発生地域 |
|------|-------|------|
| | やや多い | 県下全域 |

[予報の根拠]

11月下旬現在，平年よりやや多い発生である。

気象予報によると，向こう1か月の気温は平年並と予想され，特に発生を助長する条件ではない。

[防除上注意すべき事項]

発生が多くなると防除が困難となるため，発生の少ないうちに防除する。

薬剤散布にあたっては，下葉を取り除き，葉裏や葉柄にもよく付着するよう十分な量で丁寧に散布する。また収穫前日数等にも十分注意する。

薬剤抵抗性アブラムシ類の出現を防ぐため，系統の異なる薬剤をローテーション散布する。またミツバチ導入後は使用できる薬剤に限られるため注意する。

【その他の病害虫】

| 作物 | 病害虫名 | 発生予想 | 発生概況及び注意すべき事項 |
|--------|----------|----------|------------------------|
| イチゴ | じゃのめ病 | 発生量：やや多い | 11月下旬現在，平年よりやや多い発生である。 |
| 促成ピーマン | 斑点病 | 発生量：平年並 | 11月下旬現在，平年並の発生である。 |
| | アザミウマ類 | 発生量：平年並 | 11月下旬現在，平年並の発生である。 |
| | タバココナジラミ | 発生量：平年並 | 11月下旬現在，平年並の発生である。 |

水稻の縞葉枯病発生状況について

本年8月上旬に、県西地域で縞葉枯病の発生が確認されました。このため、水稻の収穫終了後に県内のヒコバエ（再生稲）を調査したところ、県西地域を中心に縞葉枯病の症状が認められました（表1）。これまで10年以上も発生がみられなかったことを考えると、今後の動向に十分留意する必要があります。

縞葉枯病について

症状：生育初期に感染すると、葉が黄白色や黄緑色になり、「こより」のように巻いて垂れ下がり、その後枯死します。この症状が特徴的で「幽霊病」と呼ばれることもあります。幼穂形成期以降に感染すると、葉に斑紋や縦縞ができ、かすり状の特徴的なモザイク症状がみられることもあります。穂は出すくみとなり、欠株の増加や穂数の減少により収量が低下します。

原因：縞葉枯病ウイルス（RSV）を保毒したヒメトビウンカが稲を吸汁し、ウイルスを感染させます。感染した稲株は新たな感染源となり、稲とヒメトビウンカの間でRSVがやりとりされながら、感染被害が拡大していきます。RSVはヒメトビウンカの子孫に経卵伝染しますが、汁液・種子・土壌伝染はしません。ヒメトビウンカは水田近くで幼虫の状態で越冬、春先にイネ科植物（麦など）に移動して増殖し、稲の生育期になると水田へ侵入してきます。

茨城県における経過

縞葉枯病は、昭和50年代後半に多発し問題となりました（図1）。昭和58年の茨城県での発病面積は約5万ha以上、うち発病程度が深刻な（多および甚）面積は約2万haでした。しかしその後減少し、平成3年以降はほとんど発生が見られなくなっていました。ヒメトビウンカのRSV保毒虫率も、昭和50年代後半にピークに達した後は低下してきており、近年は平均すると1%程度の低い水準で推移しています（図2）。全国的にみると、現在西日本の一部で発生がみられる他、栃木県南部でも発生が確認されています。

今後の調査予定等

現時点では直ちに昭和50年代のような大発生の心配はありませんが、縞葉枯病の予防のため、水稻収穫後は、早めに秋耕を行うことが重要です。

縞葉枯病の発生には、ヒメトビウンカの発生量やRSV保毒虫率が大きく影響します。病害虫防除所では3月以降、ヒメトビウンカ越冬幼虫のRSV保毒虫率を調査します。またその後、麦や水稻でのヒメトビウンカの生息数調査を実施しますので、今後の情報に十分留意してください。

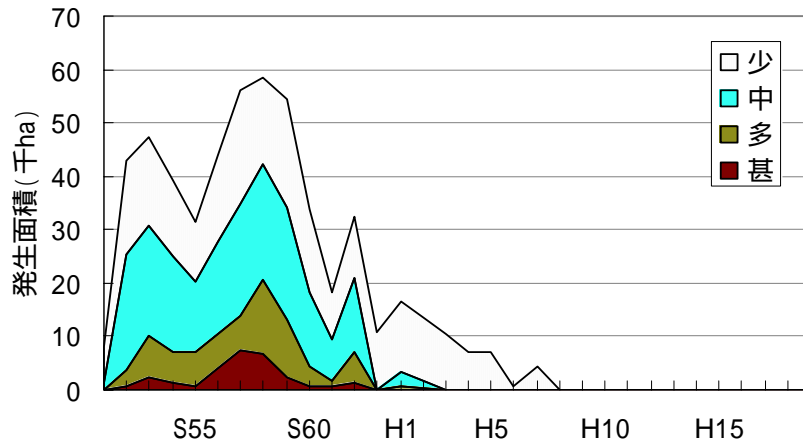


図1 縞葉枯病程度別発生面積の推移

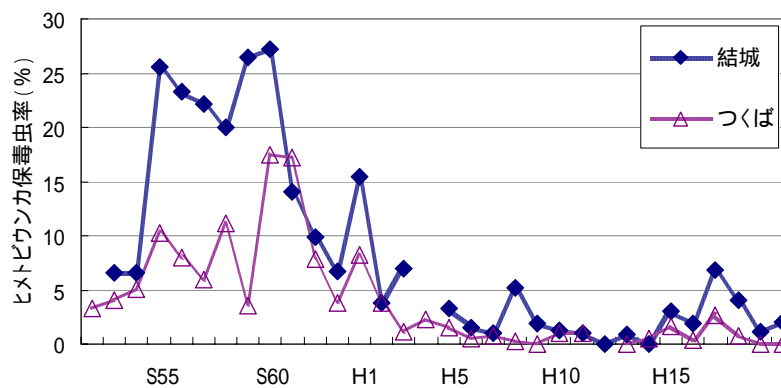


図2 ヒメトビウカ保毒虫率の推移（越冬幼虫）

表1 平成20年 縞葉枯病 水稻ヒコバエ調査結果

| 地域 | 市町村 | 調査圃場数 | 縞葉枯病発病株率 % | 地域 | 市町村 | 調査圃場数 | 縞葉枯病発病株率 % | |
|----|--------|-------|------------|------|---------|-------|------------|-----|
| 県北 | 水戸市 | 6 | 0.1 | 県南 | 龍ヶ崎市 | 1 | 0 | |
| | 日立市 | 1 | 0 | | 取手市 | 1 | 0 | |
| | 常陸太田市 | 7 | 0.2 | | 牛久市 | - | - | |
| | 高萩市 | - | - | | つくば市 | 5 | 0.2 | |
| | 北茨城市 | - | - | | 守谷市 | - | - | |
| | 笠間市 | 3 | 0 | | 稲敷市 | 10 | 0.1 | |
| | ひたちなか市 | 3 | 1.1 | | かすみがうら市 | 4 | 0.7 | |
| | 常陸大宮市 | 12 | 0 | | つくばみらい市 | 3 | 0.3 | |
| | 那珂市 | 6 | 0.1 | | 美浦村 | 2 | 0 | |
| | 小美玉市 | 1 | 0 | | 阿見町 | 2 | 1.0 | |
| | 茨城町 | - | - | | 河内町 | 1 | 0 | |
| | 大洗町 | - | - | | 利根町 | - | - | |
| | 城里町 | 6 | 0.1 | | 県西 | 古河市 | 16 | 3.4 |
| | 東海村 | 2 | 0 | | | 結城市 | 9 | 5.3 |
| | 大子町 | - | - | | | 下妻市 | 6 | 1.4 |
| 鹿行 | 鹿嶋市 | 3 | 0 | 常総市 | | 11 | 0.9 | |
| | 潮来市 | - | - | 筑西市 | | 18 | 9.4 | |
| | 神栖市 | 2 | 0 | 坂東市 | | 12 | 0.4 | |
| | 行方市 | 6 | 0.7 | 桜川市 | | 3 | 1.8 | |
| | 銚田市 | 5 | 0.3 | 八千代町 | | 5 | 4.9 | |
| 県南 | 土浦市 | 5 | 0.6 | 五霞町 | | 3 | 1.4 | |
| | 石岡市 | 4 | 0 | 境町 | | - | - | |

10月20日から11月7日にかけて、各圃場300株を観察。

・今月の気象予報

関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 11月22日から12月21日)

気象庁(11月21日 発表)

< 向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%) >

[確率]

| 要素 | 予報対象地域 | 低い(少ない) | 平年並 | 高い(多い) |
|------|--------|---------|-----|--------|
| 気温 | 関東甲信全域 | 30 | 40 | 30 |
| 降水量 | 関東甲信全域 | 30 | 40 | 30 |
| 日照時間 | 関東甲信全域 | 30 | 40 | 30 |

[概要]

天気は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

< 1週目の予報 > 11月22日(土曜日)から11月28日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率 50%

< 2週目の予報 > 11月29日(土曜日)から12月5日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並または高い確率ともに 40%

< 3週目から4週目の予報 > 12月6日(土曜日)から12月19日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い確率 40%

・テレホンサービス

下記の情報を24時間提供しています。リアルタイムな情報を提供するために、病害虫の発生状況等によっては内容を変更することがあります。

電話番号 : 029 (226) 5321

12月上旬 農薬の安全使用について

12月下旬 施設野菜病害虫の発生と防除対策について

農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し, 適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず, 良く洗浄しましょう。